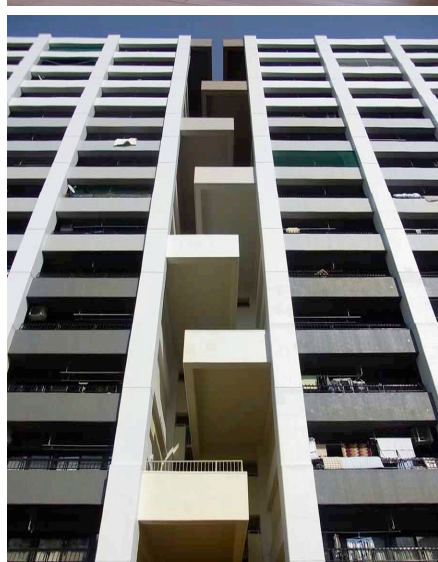


朝霞浜崎団地の「デザイン力」によるトータルバリューアップ ～ニュータウン開発のその後②



■主催： 日本建築学会関東支部都市計画専門研究委員会

■趣旨： 築40年近く経過した朝霞浜崎団地は、総戸数975戸の賃貸住宅で、10～15階建ての住棟3棟からなるごく普通のいわゆる公団団地であったが、経年変化による建物の劣化や住環境へのニーズの変化等によって、賃貸住宅としての競争力の低下が顕著となっていた。その解決策として、大規模改修を機会に当団地の全体的な価値を向上させることを目的に、複数のデザイナーやアーティストの“デザイン力”を導入したリニューアルプロジェクトが試みられた。“URBAN FOREST ASAKAHAMASAKI DANCHI”と名付けられたこのプロジェクトは、団地住民は住んだままで進められ、主として住棟の内外の共用部と外装デザインをリニューアルすることで従来の朝霞浜崎団地のイメージを一新するものとなった。このイメージの変化は、沈滞化していた住民意識にも変化を与えたとも言われており、住環境へのデザイン力の導入が好結果を生むことを示した事例の一つとして、一見の価値がある。

■日時： 平成26年8月3日（日）14:00～16:00

■集合時間・場所： 13:50に朝霞浜崎団地3号棟1階集会所（JR武蔵野線「北朝霞」駅、東武東上線「朝霞台」駅より徒歩5分）集合（朝霞市朝志ヶ丘1-2）

■案内人： 韓亜由美（アパンスケープ・アーキテクト／前橋工科大学）
新川達哉（UR都市機構）

■当日の行程：

13:50 朝霞浜崎団地3号棟1階集会所集合・受付—

14:00 趣旨説明：稲見成能（前橋工科大学）—

14:05 プロジェクト概要説明：韓亜由美（前掲）・新川達哉（前掲）—

14:35 見学開始 — 16:00 見学終了・解散

■定員： 25名（申込先着順）

■参加費（当日徴収）： 1,000円

■申込方法： 申込みは下記のURLから↓（平成26年8月1日（金）締切り）

https://www.aij.or.jp/index/?se=eventlist&ac=action&button_kind=3&button_id=852

■朝霞浜崎団地 配置図

